

京都市藤城児童館評価結果

I

リーダーシップと意思決定

1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

1 事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している	
1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を明示している	確認済
2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	確認済
3. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	確認済
2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	確認済
2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	確認済

【講評】

法人および児童館の理念や基本方針を職員と利用者に周知しその理解促進に努めています

- ①児童館に関する情報を市民向けにホームページやおたより等で発信しています。
- ②満足度調査を実施して利用者ニーズをくみ取ろうとする努力をしています。
- ③法人としての全体研修や児童館での職員研修でビジョンや方針を職員に伝え、理解の促進を図っています。

II

経営における社会的責任

1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している		確認済
2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる		確認済
2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		
1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		確認済
2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法（事業者便り・会報など）で地域社会に事業所に関する情報を開示している		確認済
2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		
1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している（施設・備品等の開放、個別相談など）		確認済
2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている		確認済
2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		
1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		確認済
2. ボランティアの受け入れ体制を整備している（担当者の配置、手引き書の作成など）		確認済
3 地域の関係機関との連携を図っている		
1. 地域の関係機関のネットワーク（事業者連絡会など）に参画している		確認済
2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		確認済
【講評】		
児童館の社会的責任を果たし、地域との連携を重視した運営に取り組んでいます		
①法人独自に職員の心構えを明文化しコンプライアンスの維持・向上に取り組んでいます。		
②ホームページによる情報開示、「情報開示マニュアル」の策定、法人内に情報委員会の設置など、広く情報公開を行っています。		
③児童館の施設特性や児童厚生員の専門性を活かし、地域社会に還元しています。		
④ボランティア担当を定め「ボランティアの手引き」の活用によって、ボランティアの受け入れ体制を整えています。		
⑤子ども・子育てに関わる地域のネットワークに参画し、関係機関との連携を推進しています。		

III

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

1 利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む）	
1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	確認済
2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	確認済
2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	
1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	確認済
2. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	確認済
3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	
1. 地域の福祉ニーズの収集（地域での聞き取り、地域懇談会など）に取り組んでいる	確認済
2. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）の収集に取り組んでいる	確認済

【講評】

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用しています

- ①相談・苦情マニュアルを策定し利用者の意見を聞きとる姿勢がありますが、苦情の受付方法や第三者委員の開示方法について再検討を要します。
- ②乳幼児の保護者や中学生等の意見を聞き取りやアンケートによって把握し、サービスの向上につなげようとしています。
- ③地域や各種団体や児童分野の連絡組織と関係をつくり、地域ニーズの把握と関係情報の収集を行っています。

1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		確認済
2. 年度単位の計画を策定している		確認済
3. 短期の活動についても、計画的（担当者・スケジュールの設定など）に取り組んでいる		確認済
2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		確認済
2. 計画は、サービスの現状（利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など）を踏まえて策定している		確認済
3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
1. 計画推進の方法（体制、職員の役割や活動内容など）を明示している		確認済
2. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している		確認済
2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
1. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している		確認済
2. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている		確認済
【講評】		
法人本部との指示が明確であり児童館を計画的に運営しています		
①法人本部および児童館が分掌し、中長期の計画から年間計画、役割分担が作成されています。		
②利用者のニーズを把握するとともに、事業内容や運営上の課題を整理し、翌年度に活かしています。		
③事業計画書、職員役割分担表を作成し明示しています。		
④「安全管理対策マニュアル」「非常災害対策計画」「緊急連絡・通報・行動フローチャート」完備し、その他、京都市が発出するマニュアル等を活用して利用者の安全確保に努めています。		

V

職員と組織の能力向上

1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		
1 事業所にとって必要な人材構成にしている		
1. 事業所の人事制度に関する方針（人材像、職員育成・評価の考え方）を明示している		確認済
2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている		確認済
2 職員の質の向上に取り組んでいる		
1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		確認済
2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している		確認済
3. 職員一人ひとりの個人別の育成（研修）計画に基づいて、必要な支援をしている		確認済
2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		
1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		
1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		確認済
2. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		確認済
2 職員のやる気向上に取り組んでいる		
1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬（賃金、昇進・昇格、賞賛など）が連動した人材マネジメントを行っている		確認済
2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど）を把握し、改善に取り組んでいる		確認済
【講評】		
職員の育成を重視して組織力の向上を進めています		
①法人独自の人事考課基準表を作成し、職員のあるべき姿を明確にしています。		
②府外広域、京都市、所属する関係組織、法人、児童館のそれぞれのレベルの研修に職員が参加する機会があり、職員の専門性、能力や意識の向上につながるよう支援しています。		
③勤務シフトや指定休などにより就業状況の改善を目指している努力は見られますが、全体として年次有給休暇の取得率が低くさらなる改善を要します。		

VI

サービス提供のプロセス

1 サービス情報の提供

1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している

1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	確認済
2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにして いる	確認済
3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	確認済
4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応 している	確認済
5. 放課後児童クラブ利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介な ど支援の必要に応じた対応をしている	非該当

【講評】

事業にかかわるサービス情報の周知をきめ細かく行っています

①ホームページはもとより、館の事業案内、毎月の館だよりなど4種の広報物に加え、学校運営協議
会発行の地域の機関誌にもサービスの情報を掲載し利用者への周知をはかっています。

②定期的に保健所へ出向いて事業に協力し、子育て中の保護者へサービスの情報を直接提供してい
ます。

③放課後児童クラブの保護者に対しては、入会にかかわる相談も丁寧に行っています。

2 サービスの開始・終了時の対応 【放課後児童クラブ併設】

1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

1. 放課後児童クラブ利用の開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に 応じて説明している	確認済
2. 放課後児童クラブの内容について、保護者の同意を得るようにしている	確認済
3. 放課後児童クラブに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	確認済

2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

1. 放課後児童クラブ利用開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた 書式に記録し、把握している	確認済
2. 放課後児童クラブ利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支 援を行っている	確認済
3. 放課後児童クラブ利用の終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性 に配慮した支援を行っている	確認済

【講評】

放課後児童クラブの保護者に対して丁寧な説明や対応が行われています

①入会時には、入会説明会を開催し「入会のしおり」に基づいて、クラブの方針や年間計画への周知
をはかっています。

②小学校の長期休業期間前には、懇談会を開催して長期休業期間中の留意点や、日々の子どもの成長
や課題について情報共有する機会を設定しています。

③クラブ修了後の4月以降も児童館利用を基本としながらも、昼食やおやつに関して一部認めるな
ど、子どもの成長に配慮したゆるやかな支援が行なわれています。

3 個別状況に応じた計画策定・記録

1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	
1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	確認済
2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	確認済
3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	確認済
2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している	
1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	確認済
2. 計画を保護者にわかりやすく説明している	確認済
3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	
1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	確認済
2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	確認済
4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	
1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	確認済
2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	確認済
<p>【講評】 子どもの様子や保護者の意向を把握して計画の策定やサービスに反映しています ①子どもや保護者の個別の課題については児童館日誌、児童台帳、個別支援記録、職員会議録等で情報共有をはかり、必要な対応については職員会議で検討されています。 ②子どもの意見や要望については、行事の実行委員会活動への参加を通して把握しています。 ③乳幼児の保護者の意向は年度末のアンケート調査や茶話会などを通じて把握に努めています。</p>	

4 サービスの実施

1 遊びの環境整備を行っている	
1. 遊ぶ際を守るべき事項（きまり）が、利用者に理解できるように決められている	確認済
2. 乳幼児から中高生までの児童すべてが日常的に気軽に利用できる環境がある	確認済
3. 利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している	確認済
4. 幅広い年齢の児童が交流できる場が日常的に設定されている	確認済
<p>【講評】 限られたスペース内で子どもが居心地の良さを実感できる環境整備を行っています ①利用にあたっての守るべき「きまり」や「ルール」について、子どもにもわかりやすい形式で館内に表示されています。 ②限られたスペースを幅ひろい利用者層がバッチィングすることなく利用できるよう、時間帯によって各部屋の住み分けが工夫されています。</p>	
2 乳幼児と保護者への対応を行っている	
1. 乳幼児と保護者が日常的に利用している	確認済
2. 乳幼児活動が年間通じて実施されており、その内容が参加者のニーズに基づいたものになっている	確認済
3. 保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している	確認済
<p>【講評】 乳幼児を持つ保護者のニーズに応える事業展開をしています ①乳児の広場や幼児クラブなど、年齢別に子育て中の保護者のニーズに応えるプログラムを積極的に実施しています。 ②子育ての社会連帯を具体化する取り組みとして、ティーサービスやランチタイムの実施を通して保護者同士が無理なく交流が図れる事業にも取り組んでいます。 ③年度末に保護者アンケートを実施して内容充実のために見直しを図っています。</p>	

3 小学生への対応を行っている	
1. 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している	確認済
2. 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている	確認済
3. 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている	確認済
4. 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている	確認済
<p>【講評】 放課後児童クラブの登録人数が多い中で、小学生の利用の定着をはかっています ①児童館利用の小学生の対応について多様な体験活動の場を用意し、日常の遊びが充実できるよう取り組んでいます。 ②子どもが抱える様々な課題についても理解を深め解決へ向けて支援しています。 ③一方で、放課後児童クラブの登録人数がきわめて多い条件の下で、児童館利用の小学生が居場所として定着できるよう丁寧な働きかけを目指しています。</p>	
4 中高生への対応を行っている	
1. 日常的に中高生の利用がある	確認済
2. 中高生が主体性や社会性を養えるような活動を継続して実施している	確認済
<p>【講評】 遊戯室の専有時間帯を設定し中学生の利用を促進しています ①中高生利用の時間帯を設定し、遊戯室を専有できるよう開放して利用の促進をはかっています。 ②こうした環境整備により他館と比べて中学生の利用が多いことが特徴となっています。 ③行事やイベントへの中高生の参画や中高生と赤ちゃん交流事業の実施については今後の課題となっています。</p>	
5 利用者からの相談への対応を行っている	
1. 利用者からの相談への対応が自然な形で行われている	確認済
2. 虐待を受けた児童や不登校児への支援体制が整っている	確認済
<p>【講評】 子どもや保護者の思いに寄り添う姿勢を大切にされた対応を心がけています ①いつでも子どもに関わる不安や課題などの相談を受け付けています。 ②相談の内容によって子ども支援センター、小学校、児童相談所等へ連携し、必要に応じてケース会議も行っています。 ③相談窓口の掲示や、職員の相談にかかわる知識や援助スキルの向上については今後の課題となります。</p>	
6 障害児への対応を行っている	
1. 障害のある児童の利用に対する支援策が整っている	確認済
<p>【講評】 保護者や学校と情報共有しながら障害がある子どもへの対応を行っています ①放課後児童クラブに発達障害の児童が在籍していますが、いずれも保護者や小学校と情報共有を適時行い、丁寧な個別対応に心がけ継続して利用出来る体制を整えています。 ②介助ボランティアの協力も得ながら、学校の長期休業中には5、6年生の障害を持つ子どもへの支援も実施しています。</p>	

7 地域の子育て環境づくりを行っている	
1. 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している	確認済
2. 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている	確認済
【講評】 健全育成や子育て支援について地域で支えていく環境づくりに貢献しています ①子どもの健全育成や子育て支援については、地域住民や関係団体との連携を重視した取り組みが行われています。 ②特に乳幼児親子対象の事業は、社会福祉協議会と連携し、地域の主任児童委員、民生・児童委員、ボランティアの協力を得ながら実施しています。 ③児童館として児童の登下校の安全を確保するための「地域見守り隊」に協力しています。	
8 広報活動が行われている	
1. 広報活動が適切に行われている	確認済
2. 児童館の活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるように創意ある広報活動が行われている	確認済
【講評】 地域に幅広く情報を伝えるため創意工夫のある広報活動が展開されています ①子育ての実態や保護者のニーズを反映した年4回の情報誌の発行など、地域に幅広く情報を伝えるための広報活動に取り組んでいます。 ②月のじどうかんだよりでは、子ども向けのポイントとなる行事のタイトルにはルビをふるなど、わかりやすい紙面づくりにも努力しています。 ③読者の視点にたった「見やすさ」や内容充実についても検証を行っていく姿勢を持っています。	
5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
1 子どものプライバシー保護を徹底している	
1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	確認済
2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	確認済
2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している	
1. 日常活動の中で子ども一人ひとりを尊重している	確認済
2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	確認済
3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	確認済
4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	確認済
5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	確認済
【講評】 子どもの権利を守り、一人ひとりが大切にされる体制が整えられています ①子どもの個人情報を守る観点から、館内掲示の写真やお知らせ等の写真については、説明会等であらかじめ保護者の同意を得て行っています。 ②虐待が疑われる事案については、学校、児童相談所、子ども支援センター、福祉事務所等の関係機関と連携する体制が出来ています。 ③虐待防止にかかわる職員のスキルアップのための研修会、勉強会などを行っています。	

6 事業所業務の標準化

1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	
	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	確認済
	2. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	確認済
2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	
	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	確認済
	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	確認済
	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	確認済
3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	
	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	確認済
	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	確認済
	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	確認済
	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	確認済
	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	確認済

【講評】

法人内の児童館や他の福祉施設の職員が一定のサービスの質を提供できるよう業務の標準化に努めています

- ①児童館用の業務マニュアルを作成し、学習会などを通じて職員が理解できる機会を設けています。
- ②職員の意見や提案を出し合い、サービス改善につながる見直しや改善に努めています。
- ③研修、会議、館長のスーパービジョン等を組み合わせ、職員の能力の標準化を進めています。

VII 情報の保護・共有

1 情報の保護・共有に取り組んでいる

1	事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
	1 情報の重要性や気密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	確認済
	2 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	確認済
2	個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	
	1 個人情報の保護に関する規定を明示している	確認済
	2 個人情報の保護について職員（実習生やボランティアを含む）が理解し行動できるための取り組みを行っている	確認済

【講評】

児童館の利用者や関係者のプライバシーに適切な配慮をしています

- ①情報共有システムやネットワークにアクセス制限を設定して情報漏洩防止に努めています。
- ②「個人情報に関する基本規程」に基づいて行動しています。
- ③児童館において子どもに関わる実習生とボランティアにも守秘義務に関する誓約書を求め、その徹底に努めています。

総評

■特に良い点

ポイント1	法人本部との指示が明確であり児童館を計画的に運営しています
	法人本部および児童館が分掌し、中長期の計画から年間計画、役割分担が作成されています。事業計画書、職員役割分担表を作成し明示しています。
ポイント2	施設の設置環境を有効に活用しながら、乳幼児から中高生までが「居心地の良さ」を実感できる施設運営をめざしています
	放課後児童クラブ登録児童が100名を超える条件のなかで、隣接する小学校のグラウンドを活用しながら児童館利用の子どもたちとの交流を図り、幅広い子どもが集える遊びと居場所の確保に努力しています。また、乳幼児を持つ保護者や中高生の利用についても、時間帯による部屋の住み分けなどの工夫により、乳幼児から中高生までの児童が気軽に安心して利用出来る環境とサービスを提供しています。
ポイント3	乳幼児を持つ保護者が参加しやすい環境を整備して多様な子育て支援サービスを提供しています
	年間を通じた登録制の「幼児クラブ」とは別に、自由参加の「乳児広場」や、親子向けの「リトミック」や、母親向けの「ママヨガ」、「骨盤体操」など多様なプログラムが年間を通して実施されています。また、地域の社会福祉協議会と連携した子育て支援事業として「かめっこ広場」も定期的を開催しています。さらにティーサービスやランチタイムなどを日常的に取り組み、保護者が気軽に交流を深め、仲間づくりが出来る環境を整えています。

■改善が望まれる点

ポイント1	乳幼児事業の企画へ保護者が参画できるような環境づくりが期待されます
	多様な子育て支援サービスが事業化され、事業の終了時には保護者アンケートも実施されていますが、保護者が常にサービスの受け手とならないために、事業開始時から計画的に保護者が持っている能力を引き出し、事業の企画や運営に参画していける道筋を作っていく環境づくりが期待されます。
ポイント2	職員のリフレッシュのために計画的な休暇取得が求められます
	全体として職員の年次有給休暇の取得率が低くなっています。様々な事業を積極的に取り組まれていることは職員個々の力によるところが大きく、職員の疲労やストレスの緩和・防止に努めることが必要です。勤務シフトの工夫や指定休の導入など、取り組みの一部は認められましたが、職員のメンタルヘルスの観点から就業状況のさらなる改善を目指しましょう。